

《お願い》  
 ピタリングは従来製品と比較し、「安定性」「利便性」「機能性」などの面で優れてはありますが、『急発進』『急ブレーキ』『急制動』などの条件下で、“めくれ上がり”や“タイヤへの巻き付き”を引き起こす場合があります。製品の特性・注意事項・留意事項を十分ご理解の上、ご活用頂こうお願い致します。

色で、音で、振動で伝える

# PITARING

ピタリング™

2006 あおり産業デザイン賞 大賞受賞  
 意匠登録・特許取得

※国土交通省へのNETIS登録は平成29年3月末をもちまして掲載期間終了となりました。

※ピタリングは「平成15年度技術開発支援制度～(一社)東北地域づくり協会」による支援の基、開発された製品です。

## 「居眠り・脇見運転車両」から現場を守る、体感マット

- I. 使用する道路の幅に合わせ、円形集合体を創作（標準形：9個連結）
- II. 道路工事箇所など「交通規制位置」の手前に設置。
- III. 厚さ1cmの凹凸が通過車両へ「振動＋音」を与え注意喚起を促す。
- IV. 面倒な固定作業もなく「簡単設置」「簡単撤去」
- V. めくれ上がりにも強く、雨の日の道路面にも使用可能。
- VI. 高耐熱性、高耐寒性を持つオレフィン系エラストマー（ダイオキシンの発生しない非塩ビ素材）を使用。



“目”で観じる

“音”で感じる

“振動”で伝える

# 工事メッセージ

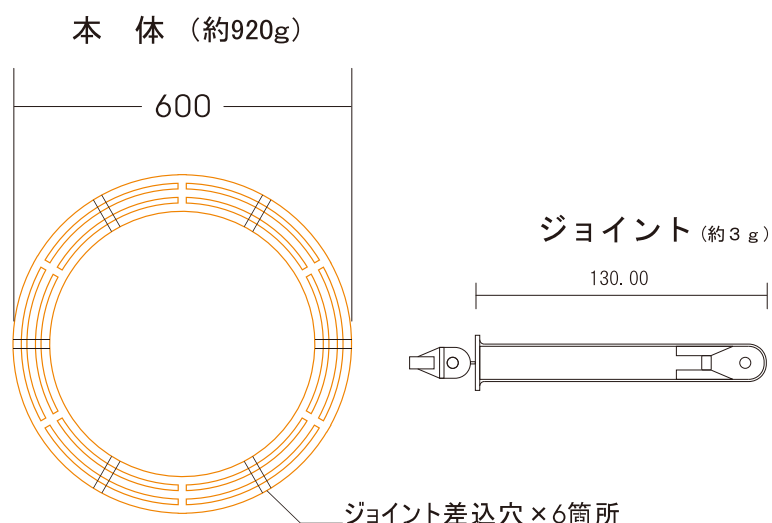
## PITARING

そこにも、ここにも。ピタッと簡単！

### 設置一発 **ピタリング**



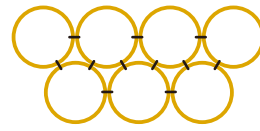
#### ◆ 本体/ジョイント



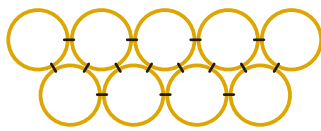
本体  $\phi 600\text{mm} \times t 10\text{mm}$  (カラー: オレンジorグリーンorレッド)  
 ジョイント  $L 130\text{mm} \times W 17\text{mm} \times t 2\text{mm}$  (カラー: ブラック)

#### ◆ 参考設置例

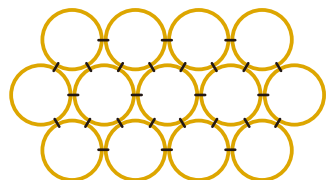
7個連結 幅2.4m  
 ジョイント使用数: 11



9個連結 幅3m  
 ジョイント使用数: 15



13個連結 幅3m  
 ジョイント使用数: 26



1列での使用は「めくれ上がり」「移動距離の増加」につながりますので、2列以上での設置が基本となります。

#### 使用方法



広いスペースで前もって組立を行います。



「ピタッ」と簡単設置！  
 面倒な固定を必要としません。  
 もちろん、撤去も簡単!!



雨などの「濡れ路面」であっても大丈夫。ピタリングによる振動で「居眠り・脇見運転」から、あなたの現場を守ります。

\* 「体感マット」という保安用具が、あまり浸透していない地域での使用に際しては、急ブレーキなどのめくれにすぐ対応（マット補正など）出来るよう「交通誘導員」または「徐行旗誘導員」から目の届く範囲内での設置が最適です。

#### その他にも・・・

大型ショッピングセンター駐車場や、公共施設構内などでよく見かける「ハンブ（道路面凹型又は凸型にした舗装）」の代用品として活用することも出来ます

#### ⚠ 使用上のご注意

- 1) 一般道路上での使用に際しては、「道路使用許可申請書」の中に「ピタリング使用の旨」を記載し、許可（使用場所を管轄する警察署から）を受けるようにして下さい。
- 2) ピタリングは、定期的な巡回確認・設置位置の補正など「現場管理」を必要とする製品です。
- 3) 作業がない場合や作業終了時は、確実に製品を道路から撤去して下さい。
- 4) 急ブレーキ・急制動の発生し易い場所付近（急カーブ、坂道、T字路、Y字路、十字路、停止位置など）では、「めくれ上がり」を引き起こしたり、二輪車の転倒原因にもなりますので、使用を避けて下さい。
- 5) 急発進の発生し易い場所付近（坂道、T字路、Y字路、停止位置、工事規制による停滞区間など）では、「タイヤへの巻き付き」などを引き起こす場合がありますので、使用を避けて下さい。
- 6) 極度の「わだち掘れ」や「舗装段差（施工段差・マンホール・道路鉄など）」付近での設置は、体感マットの「めくれ上がり」「巻き付き」などの原因となる場合がありますので、使用を避けて下さい。
- 7) 高速道路や自動車専用道路(平均時速60km以上)に於ける安定性は未検証である為、使用はしないで下さい。
- 8) 「体感マット」という保安施設が十分に浸透していない地域では、不慣れによる急ブレーキなどのめくれ上りに対処する為、現場の「交通誘導員」または「徐行旗誘導員」の見える範囲内に設置する事をお奨めします。
- 9) 連結形状は、9個連結/箇所が「標準使用形状」となっております。
- 10) 交通量が多い場合や、安定性確保が困難と思われる場合は「製品の粘着固定」を行うか、「製品の使用を中止する」等の検討が必要です。
- 11) リング同士は「専用ジョイント」で連結して下さい。
- 12) 長期間使用したピタリングは、すり減り等によって重量が軽くなり、安定性に影響を及ぼす恐れがあります。定期的な点検と交換が必要となります。（目安として、厚さ9mmより薄い場合は交換をお奨めします）  
 ※その他、製品に関する詳細等につきましては、ピタリングホームページ (<http://pitaring.jp>) を参照下さい。